古刀銘盡大全

刀劔見樣之事

五

古刀銘盡大全巻之五

大和物の大作。太刀の姿細く鎬廣く高く腰そり反たるも有
鍛多く正目也ぼうし焼つめたる有あるひはこづむも有庵丘なる
有おほしの彫物剣先いるる心。小脇差造反たるも有るべし
忠沪色くあり同作もひがき鷹の羽又ハ横筋違ひ等あり
末作ハ銘文不同なり

○天国 大宝ノ比 宇多住人 太刀姿なをく鎬ひろく庵ふとし。鍛板目いりまじりも
あまりやうからくなしされど地あらき也刃沸多し切先つまりふ焼きなる
たり小乱の足長き也のたれ乱もあり

○天座 同比 太刀姿反高く鎬ひろく庵ふとし鍛板目いりまじり
細れる沸也。焼刃鎺元より細く焼出し三寸斗よくにほひあつく
沸あるる小乱あらくと逆足とよく焼。横手下より細く切先まで焼
つめる也かへりもなし。地肌いかにも直ぐにて上手の作と見へたり
忠棟角あるひは刃方のめんをとらく栗尻丸棟ともいふ平鑢いろいろ
槌目もあり忠先栗尻も剣形も剣形の先丸めたるも有

○友光 和銅比 古刀姿あしからず鎬ひろく鍛正目いかにも細也
小乱刃鍛元細く焼出し掛打の流あり刃広し又は細くも
焼く大国にて磨出しあり力あるおとなし

○安則 永延比 古刀姿宜し。あつし造並にて鎬たかく庵さうら
也鍛正目いかにも細かなり沸多く地刃ともに見事しく直也

○行平 同比 古刀姿細く少しあつて鎬広く棟うすく鍛
正目。細すぐ刃小乱刃もの又乱も有沸ある丸むし作り
あり後は手に似たり二字銘等を打

當麻掛大作真のくりくり出し刀樋など切たるもあり
手の流は彫物の上手にて細かに大黒・倶利伽羅なり剣を
先とがりそしぶく彫。刀は樋常也○忠棟肉及方厚し
やさしく多分横ひぐさも有。銘は磨たる打作り有
也くあり○小鋒先造すぐ重ね行きたる方巾中小の方有し
三棟も有猪首造は樋かくぬる例也剣樋彫物は常也

○當麻 正応比 刀姿○あつき方鎬たかく巾中も小もあり庵
あつし鍛正目いかにも細かにして肌すこし沸あり○また刃元
ほそく先広し沸。先焼つめる小切先也。又まれに切たるも有
小鋒先造さしうつむく方巾ある○出来以下刀同前○忠茎鑢勝手
下り先細く茎形銘を打華常也。国行 後行 友清等数代
あり委系図の所になり

○尻掛 則長 建長比 刀姿細く鎬ひろく高し腰そり反り鍛正目も
板目もあり庵ふかく○すぐ刃も小乱も小ぐのめ交るも有いがみま
じる沸あり○小鋒先造すぐ庵むしろ平く高く刃鍛刀同前
彫物も當麻同前也。忠むし肉少く横主作はおし。筋違なり
先剣形刃方より多く先棟の方はすく也同銘数代あり則長作
大和則長作 正和比 後の大和国則長作 正和比 大和尻掛則長作 正和比

○千手院 長承比 古刀姿反高く鎬高く広し左棟に作る事
鍛見えがたく地もでる正目の様也。すぐ刃に又小足を焼入
もさうけたるもなり切先中。○小鋒先造出来以下刀同前
忠鎬高く筋違平横鍛元二三寸横鑢先太筋違はもなり

○定利　文永比 綾小路住　太刀刀鎬(シノギ)廣さ薄く庵(イホリ)あさく。丁子みだれ小出来あるもすぐ刃の交(マジリ)たるも有。沸(ニエ)深く匂ひろく打のけありそれゆゑ刃廣く乱(ミダレ)たるあり。傳に一文字に似たる出来あるもありよく沸たり丁子乱吉家に似たる物也。ゆゑにやと有もあり。小切先にて丸かへり有。小鋒先表也。忠(ナカゴ)棟(ムネ)肉(ニク)鑢(ヤスリ)太筋違先栗尻(クリジリ)なり銘草(サウ)にて大成を書数するもあり

○兼永　元永比 五条住　太刀刀姿又在国によく似たり。樋(ヒ)あり小切先丁子みだれ小出来あり月に乱(ミダレ)入細(コマカ)に乱なるも定利に似たるも有乱先沸深く少し深(フカ)く浅し。ひろき肌(ハダ)ありかゝ白けたる小鋒先表也。忠(ナカゴ)鑢(ヤスリ)様も錆もありも有栗尻(クリジリ)

○国永　治暦比 兼永子　定利によく似たり上手なり庵(イホリ)あさく鎬(シノギ)高く銘は上手なり忠(ナカゴ)ひら肉(ニク)鑢(ヤスリ)小筋違なり

○国行　正元比 来太郎と云　刀姿反あさく庵中太なるもあり鎺(キ)直刃揃てる肌也むね白けたる樋(ヒ)もありて小切先なり。丁子みだれ多く乱も六七寸上より廣すく刃にたるをわずす又は又多年おゝそて見を焼入たるもありほそくすぐ刃に交る丸く樋は中ぐりしも多く肖又はなきもあり然(ヨツ)るに白く匂(ニホ)ひろく刃の上まさり也。傳に押型鎬(シノギ)は掻流し先の物を有ゆゑ沸(ニエ)多く姿(スガタ)も違ふなり。小鋒先表也。忠(ナカゴ)ひら肉(ニク)鑢(ヤスリ)横(ヨコ)筋にて肉(シシ)ありて先栗尻銘も二字にて大銘也来とも有事なし

○国俊　正応比 二字国俊と云　刀造(ツクリ)出来は下太作国行同前にてそれより乱れ上に廣すぐれ見あるも上手にて丁子みだれなるも有すぐ刃のさもありも有。すぐ刃と乱刃の鎬と姿(スガ)沸(ニエ)など。忠(ナカゴ)国行同前也。逆(サカ)足(アシ)もあるものなく来の字なく似たる二字国俊といふは此外に二字有国俊同銘横(ヤコ)に有出来よく上手にてもとかつぎし古さは似せ銘多く正しからぶる国俊来国俊たる不足に多きさりのなり

○来国俊　正応比　太刀刀姿細くて鎬(シノギ)廣く小切先庵(イホリ)深くなり鎺(キタヒ)正目肌(ハダ)白けるすぐ刃打のけありよく沸(ニエ)匂(ニホ)ひろくして鋩(ボシ)またくの如く乱乱刃もあり。ほそし丸し小鋒先違すく小巾(ハバ)えの刃廣くふくらし鋒ありたるの多(オホ)しかへりあって其外刀同じく梵字(ボンジ)もくり物は細いおゝし横手いろるも中鎬(シノギ)をさる。忠(ナカゴ)ひら肉鑢(ヤスリ)横

あらうしに銘もあれ不審なるものなり

○了戒 正応以来国俊子 定利才子 左刃姿おそく鎬高く地肌目細之鑓も有
彫ものうすく三枝も有小切先のすく刃おのけ有すく刃ま乱足の
入たるも小乱刃もあり国俊に似たる根あるも有本にて刃広くてくさ
うけ有もあり細かく沸多く深しほどし丸かりむねには小鋸鑢造
正く小巾重ね寸の延たるも反たるも有すぐ刃菖蒲造も稀に有
造も中稀なり○忠ひの角やまう横に栗尻なり
俗名光重といふ了戒は法名なり

○信国 建武 貞治 応永 先ハ此三代ヲ云 刀鑓も鎬造もあり流板目肌白ける庵
棟にし三枝も有小切先彫物多くあり大かた彫ひの樋も有○のたれ
乱も上く刃かた有よく沸ましほど深し丸し○小脇指造すぐ刃ぬ刃
たるも有延たるも中根指も鵜首造菖蒲造色々有出来以下
刀目おおく出来たるは貞宗とも見ゆる事なり
貞治応永の作小脇指造すく重ねあつくすぐ刃も乱たるもあり
二つ筋も庵ひの○もあり彫物梵字獅子形蓮花雨クリカラ剣木
さもあくほり物の刃広さの後は相州にかよひ様成るもあり
備前物にまがふ事もありうちなおれる乱足丸く二つ三つもあるも有
忠むねの○肉厚鑢横筋手のうち先栗尻末作は棟丸し三代迄ほとは
考ものの源左衛門源次郎其外同銘多く有古は左に字も有 末作は
國字下広く忠押形の前にて見るべし

○長谷部 暦応 国重 刀造おそく小切先三つ棟重庵浅く丸棟も
あり樋もあり流板目肌白く乱れ白ける○乱刃ひろくよく沸
玉ある有棟むけ多くほどして丸くかかり広うし彫物剣梵字
獅子形蓮華雨くりからなとの彫たるもひろげてあつくこのなり
広光秋広信国なとに似たる物多く法もほどしかへり棟に
鎬もあれ其ありほそし形もふくらひの重有の後。なまくへすく刃も
有小脇指造反巾ひろく重ねうすく番に造すく成もあり菖蒲
指刻しとれも有延たる平作り多くあり。かへりいかにもふかく
出来栄刀に似たる。忠むね丸く鑢横先おそくたなご形にて
栗尻すなはちあさく國の字の中を国如此切るは長七正宗の弟子也

一國信　出来以下大作にはおとれり　本國大和同　銘有三代目天王寺住

○平安城　文和ノ比　刀反高く身はうすく棟高く鎬広し小切ハイ中切先もあり。大のたれ刄。乱れもあり。ほそし丸も沸有彫物なからほいろく沢山に彫光長ハ大のたれも小乱交も小のたれも有これみ長吉三代後ニ河ニ住ス又上ハ中すく刄の横手より乱えそのたれあくのめの横手乱て腰焼の横手もあり書焼もさつくもあり。小鋩先造反大ぶり也そ身はうすく出来以下刀目なり。忠ひは丸く中なり横手より細栗尻やすりノ目ハ小鋒造もあり

○正宗　文和ノ比　達磨　太刀脇丸ひゐを好肌板目小乱刄細のたれ沸有ほそし丸く平めせてかへりも有小鋩先造ほそく長刀同なり。忠棟丸沢鑢筋違横沢も有栗尻銘二字正ノ字真也本國波平住人後京鏡小路ニ住後銘國重　同　重光　同　并達磨入道也達磨と弁も書忠先細し

栗田口物大体太刀脇差ほそく鎬正目細かくうつり有て本土肌成もあり京物のうち中にもおほく見えしとりかくくもりやく心あり地色青く。刄白く心。沸多くほうきもの細も有鷹刄へ也し

すく刄中のたれ丁子ふ乱すく刄に小丁子ふの足の入るもあり

二重刄焼いろも粟田口と見ゆる錵有鋩國に似るもあり希也彫物上くなくてひらなく至ること見ゆる也繊入ふら梵字すそ以下ふた筋細し護摩箸の刻せまく樋に丸くふかく先は腰まで添樋の先ハ平かにひあり多くハ三棟あり忠ひ角成ハ角小くふく小肉あり沢横又ハ勝手あり入大筋違とかんノ先ヘ栗尻

○國友　元暦比　粟林下云　六月鍛冶　太刀脇差ほそく本にて反浅もふせまく平らあつく鎬高く三棟もあり鎬正目肌細かうつくしく。すく刄沸多く二重刄あり細し地ひくひ焼もあり。小鋩先造かたく小巾之鎬中ふくらかれて甚おひ刀同なり。忠ひ丸くやすり横勝手あり元先栗尻銘二字粟林國友　同　并王国と切もあり

○則國　建保比　粟田口流　刀ハ沖の希也脇差ほそく反浅き鎬細く短く三棟鎬中。細すく刄の中丁子刄も有よく沸かたくあく焼ほそく切先つまり也刄の上ニ細み鎬の本ニもあり。すく刄の刀とそくれなり

たまさく反たるも有巾ま◯いろく有えるて刃おそくなり
出来以下刀は常は◦忠は◯角も少丸あるも鑢横先鋩敢又鑢筋
筋違平横先栗尻もあり

○正宗　正應建武ヨリ貞和ノ比入道ス　行光子或云養父國光弟子ニ成　太刀刀脇指巾あつて反すくなく
三ツ棟も廣しおろしふかくなまく　庵棟もあり切先延てあるも
小切先も有　鑢板目さらりとしるつくし◦乱刃のく直乱よく沸
あらくしていづれにすぐし有大出来ニ丁子をみるごとくなれ
玉抔有もあり又すぐにかのされんなる小出来もあり又頭ふくろく
彫物も浅く風也ぼうし丸し焼つめたる有さきかけたるもあり
◦小振至てすくなまくかに反もあり巾重中えの刃おそく甚升
刀は常は◦忠は◯角鑢筋違なり先鋩取但三ツ作の内にても
中之太刀の忠は◯丸し又云大小共ニ樋鋩彫物あり無銘ハ希也
とも云銘二字ニ打但すく刃ニハ打乱刃ニハ不打年号多しとも
但古書ニ乱刃たんざく地扇ひくき扇半月抔多くと記したり勅によれ
りんかにまぎれて偽物おほし作にも焼のりかりの似たるはまぎれ
[illegible]
名人たるが故によろづきおく其出来もあり作の分斜を以てよくたつねと
第一とすべき也焼のりかりのみかぎりなしいづれの作にも似たる半具
無二の名人なるゆへいふにも是と感んずるなどいれところの出と
おもふべきのなり

○貞宗　建武ヨリ　延文比　太刀脇指正宗によく似たり少し平かなる
脇指なり忠は◯切先はし鑢は筋樋多し◦のされ刃乱刃玉刃とも
多く沸匂違すぐにいづれ丁子抔ありて正宗よりよく似たり是も小
出来にはのされんなるも有おもむし尻◦小振至て違反て巾
廣きさ方之反の高きもなりまる◯厚さハなりしすの延るてまれ
平作りもなりえりて刃おそくかつりふつうし彫物鋩倶利迦羅
梵字抔さまくあり無銘ハ希之夷藻倉風之古き作團抔のめきも
あり◦忠は◯角鑢筋違先細くたちがごに剣取三ツ作の内にても
ごくりとふかうし是も刀は忠は◯丸し鑢横も勝すりかりあり
棟のあとりも平のごとし助真と銘をきりたるすあり姫路州
ニテ住出来おおとありの勅銘弘光と打忠かまへてう門指也

○廣光　建武ヨリ　かね次第　小振至違反巾ひろくまる◯うすく三ツ棟まで廣く

おなじふくら寸の延るもあり。鎬板目。うつくしく刄玉多く先の刄
ひろくかへりふかし。ほそく丸沸ありて乱崩れてすこしもみだりなし。焼
多し。たまにすぐ刄もあり。○是は志希なり。巾廣く反すくなく
ほそく多くふくらさ樋ありなかにも刀すぐれたり。其茎下小切おほく
剱梵字なども掘。独鈷彫も名作なり。ほそくしなり。○忠も
角。鑢横へ。先栗尻。是も刀の忠にて（丸）。銘相摸國住人廣光とも
廣の字は以の点を立てかく。如是二字銘も有。廣の字もかく同銘又あり

○秋廣　文和比廣光弟　九郎三郎　小銘なり。姿は廣光に同じ。乱おほく刄ぐもし
おほく出来おほきずれ、すりへらしたる刀は志希なり。反ふかく巾細めなり
刀は下手也。彫物はいろくあり。廣光に同じ。○忠廣光同事なり
銘は相州住とほり秋の字草に廣の字以の点すぢかひに廣光
おなじく似たる。貞宗にまぎれ同銘又あり

直宗外に正宗弟子とおもへ共本國の附より譲念にまかせて是に記す

○嶋田　廣正ノ比　駿河國住義助　刀造り中ぐ銘多もあり廣光に近き方
京備前其外数人有系圖の所にて委見るべし

二拵もあり。棟もあり。切先大中小いろく有。鎬板目。さく有
のたれ刄又は大乱出来あるもひさつくも有よく沸。まじりもあり
くの字の乱も相州もの。ひろく出来る有。すくなく志希なり
ほそく丸かへりふかし。乱そさむみたるもの有。彫物はいろく有。小銘先
小ばすぐ刄も細すぐ刄もおほし。乱れもおる造反巾ひろく先も丸
うつすぐ方多し。又はすぐ焼も小巾なるも有。甚に刀には忠にて
肉。鑢横。先刄そぐ栗尻。同銘代々あり

是は法相本國大和より出たるもの多く。法もよく大和に
似たれ。すぐ刄もみだり足の入たるも乱刄も有。地肌古作よ正目も
あり。後は板目も多く志津の一振沸多くこまかに人の鎺も
来作よりもすぐれたる出来あるもの多し。○忠鑢ひがき尊の刄多く
又は横やすり。小筋違もあり。先栗尻多し。後は
平は横の下ざい筋違もあり。古作来作とは切りの鑢なし
希なり。銘也さき方多し

○兼氏　元應ノ比　志津住人　刀造造く中にもよく庵中二棟も有切先たかく

○月山 奥州住 刀姿中小切先也 樋もあり 広中地肌あや杉といふ
ことく人の見覚へたる梅之肌まじり多くはうねりのごとくたまくハ例の肌まじるも
あり此外の作ニ此肌の有をあり押形の如く素紀也。すく刃直し
又乱たるもあり。おほし丸。小鋩蒔えて先ハ中小の方多し。中
鋩もあり出来以下刀同前。忠も◯角も丸も如くあり。横文も
小筋違[ハスカヒ]も有 先栗尻又方上ニて。元暦以来明応比数代有或出羽ニ住

北国物大体多分沸あつくすあましのごとくにうつりて見ゆれば
外の国よりはかなへしくいやしく侘あしも作ならぬも宜
まさらは来作に能さし地の◯わろしく替好なし、

○冬広 宝徳比 若狭国住 刀姿大体之広中ニ三棟[ムネ]も有 樋もあり
切先中小。杢肌あるも有らへ乱も有。のたれ刃。すく刃
くの丑風の乱も大出来成も又広ときも有 沸[ニエ]なく 鋩[ボウシ]も
又沸ときも有 おほのけ有もあり。小鋩
遠[ツクリ]いろく中鋩も有 出来以下刀同前。忠も◯いろく 鑢[ヤスリ]
横も筋違[ハスカヒ]も有 先又くりの栗尻[クリジリ] 若州広次二代目の子之数代有

○国安 応永比千代鶴 越前国住 刀姿中[ナカゴ]ひろく重ね◯鎬[シノギ]高く広くの三棟も
丸也◯ニ有樋も有。ふくらひすくれぎ有坂に神[シノギ]ざさ鎬出のあり
くの打さら乱直也すく刃も有若焼刃も似すら沸[ニエ]もはる
也◯焼[ヤキ]あるも有 刃ぶち(?)へ出る也。小鋩出来刀同前来国安とも
忠も◯角中ごろ大筋違 越前来とも本国京来の末也

○守弘 応永比国安子 越前住 刀姿巾[ハバ]ありのくを刃飛ころ刃もあり
忠も◯丸く二字の銘なり

○宇津[ウノヅ] 越中国住 刀造[ツクリ]いろく有切先まて樋[ヒ]も有広[イホリ]浅くミ
棟[ムネ]も有。すく刃乱刃いろく有大出来あしても立すあまじ[コジ]いかがはま
あはりて見ゆがよからもあり。おほし乱[ミダレ]くさ[クダレ]もまるくろもさく
わうく沸[ニエ]。越州地鉄[ヨキ]鍛[ニギ]よし鉄出来もあるりのあり細[ホソ]くみも
わるき故[コ]入道国光ハみなよすぐれたる其外杢立すぐ刃沸[ニエ]大体
の出来るみ刃多し文新身とりえそうなりの出来もはり数人
ありて一振なりし越前刃のうへすぎし人ニ少まも多し
小鋩造[ヅクリ]いろく中鋩もはり出来以下刀同前なり

石州物大体刀も中切先も小切先も有刀形せはく切先ちいさく
庵棟もふくらもはりこ棟もあり鍛板目○中ぐの先ふぐり也
又ハのたれ乱なるも又ハ大出来なるもさかけ沸たるも有又ハ
すぐ刃も有ちかしいろいろ也彫物中ニ寄相州ニ似たり忠
むね角も丸もあり猪の目あるも小鍋透も有先ハ剣形の
刃方など多く取但忠貞などハ大鍋透貞末などハ横せんあるも有

○直綱　建武ノ比　正宗弟子　刀大出来なるもの多し小切先ほそし丸し
小切先も造反甚だ石州より上の作なり

○貞綱　明徳比　刀ハちらさかけ沸なる多く小切先も少し反
うつり風の乱もさり乱も有是も石州より上の作也

○忠貞ーとて刀反磨上の小ぐのわかさなるくするかりたくの分も有
小切先ハ希也ほそし丸く甚だ大きなり

○貞末ハ刀希ニ中切先小切先造すぐ細すぐ刃多し
みだれも刃もありほそし丸く甚だ大きなり

古刀銘尽大全巻之五終